

平成23年度第1回制度審査部会 議事要旨

1. 日 時：平成23年6月8日（水）15：00～17：00
2. 場 所：別館825会議室
3. 出席者：（委員）山富部会長、小出委員、名古屋委員
（専門委員）江口委員、今野委員、佐藤委員、獅子原委員、野口委員、
萩尾委員、星委員（山本代理）
4. 内容
事務局より、改正鉱山保安法の施行5年後のレビューのフォローアップに係る資料
について、説明が行われた。委員からの意見等の概要は、次のとおり。

（災害分析に関して）

- 災害分析（資料4 p 12）管理的要因の「管理」は、安全管理の観点のみであり、もう少し業務計画のたて方等、管理者側（会社）の経営面からのリスクマネジメントに触れられた方がいい。
- 死亡・重篤災害発生鉱山のうち、10人未満の規模の3件について、管理的要因をよく調べた方がいい。
- （資料4のp 21にもあるとおり）、この5年間で無災害の鉱山（472鉱山）についても、もっと、高度な内容で何らかの指導をしていく必要があるのではないか。
- ゼロ災害の472鉱山を含め、傾向として鉱山独特の災害が減少する一方、一般産業でも発生するような災害の比率が高くなっているため、ここにターゲットを絞ってほしい。

（鉱山・会社・行政の3つのPDCAについて）

- 3つのPDCA（資料5 p 3）の考え方について、保安院の目標をもとに、各鉱山は具体的に目標を考えるとということによいか。
→（事務局）ご認識どおりである。
- 鉱山現場だけではなく、会社のPDCAを明確化したことは画期的である。これを実行するには、保安院で慣れてもらう必要がある。（行政のPDCAのPlanの）5番目に、監督部も含めて、新しい考えを共通認識させる目標も必要ではないか。
→（事務局）5年間ではなく、もっと長い10年でみると、もっと特定されるかもしれない。また、鉱山では3日未満の怪我やヒヤリハットの事象はあり、これらを集計して役立っている鉱山もあると聞いている。
- 3つのPDCAについて、鉱山、会社、行政のそれぞれのPlan、Checkなどをマトリックスに示し、それぞれの役割分担を明確にすべきである。もう少し整理す

れば、わかりやすくなる。

- 3つのPDCAについては、1鉱山としての目標をもう少し、わかりやすく表現してもらいたい。ヒューマンエラーなど、災害案件において、「年齢」（経験年数）や「教育」というのも大きなファクターである。リスク管理、一律の教育は、企業にとって落とし穴になる。
- 3つのPDCAについては、もっと具体的な例示、わかりやすいものにしてほしい。これまでは、ベルトコンベアの回転部分にカバーがないと危ないからカバーをつけるといったリスクアセスメントが鉱山の安全であった。しかし、それだけではなく、鉱山と会社のPDCAの例では、現場で人事異動があったときの影響度や生産活動の変動についてリスク抽出したのか、その対応をしたのかも鉱山の安全として重要なポイントである。この視点が入ることによって、監督検査のどこを見るのかも異なるはず。
- 鉱山の安全と会社のPDCAについて、言い換えると、「現場部門」と「管理部門」とした方がわかりやすい。管理は、生産計画の鉱山への指示、新人教育などする部門。

（鉱山評価制度について）

- 良い制度と思うが評価は難しい。各鉱山における独自の工夫を是非、評価に取り込んでもらいたい。また、どういう鉱山が表彰されたかで、メッセージが伝わるので、表彰制度につなげるなど使い方を考える必要がある。
- 今回、国が示す目標設定である5年間は長すぎる。少しずつ目標をあげていくようなこまめな工夫をする必要がある。
 - （事務局）主体は鉱山側にあり、それぞれで目標を設定してもらいたい。そのためにも早期に鉱山評価制度を立ち上げて、トライアルをして、その試行結果を踏まえて議論を深めたい。期間については、年1回くらいでチェックして報告をしてもらい、自由度をもって行いたい。

（リスクマネジメント指導員制度について）

- 鉱山は自然を相手にする職場であることを考慮いただき、リスクマネジメントの知識だけにとられぬよう、現場の知識も持った方に指導してもらう必要がある。

（保安管理マスター制度について）

- 国家試験制度のように勉強のインセンティブになるので期待。認定要件に「鉱山技術」が含まれているべきと考えている。自ら運用、運営したいとも考えている。
- 会社としてどう処遇に取り込むべきなのか、法令上の保安統括者のような位置づけが行われるものか。
 - （事務局）業界の自主的な取組を提案するものであり、民間が育てたい枠組みにしてほしい。

○業界の若い人には是非、勉強してもらいたい。各企業で自由にとおっしゃるが、業界としては是非、行政側にもう少し関与してもらいたい。

(その他)

○水平展開については、HPにアップしましたで、終わりではなく、どれだけアクセスがあったのかについてフォローされると良い。

(了)